

写

28生産第569号
平成28年6月17日

北海道農政部長
地方農政局生産部長
内閣府沖縄総合事務局農林水産部長

} 殿

(農林水産省※1) 生産局園芸作物課長

高温等に伴う園芸作物の被害の防止に向けた技術指導の徹底について

気象庁発表の「全般1か月予報(平成28年6月16日)」によると、全国的に気温の高い状態が続くことが見込まれており、野菜、果樹及び花きの生育への影響が懸念されています。

このため、「農業技術の基本指針」(平成28年改定)(平成28年3月31日公表)(http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/g_kihon_sisin/sisin28.html)を踏まえ、下記について、各地域の状況に応じた迅速かつ適切な対応が行われるよう、〔貴局管内の各都道府県に対し、〕技術指導の徹底を図るようお願いします。

施行注意：1 ※1は、農政局宛ては除く
2 []は、農政局宛てのみに記載

記

I 共通事項

- (1) 農業用水の確保のため、関係機関との調整を図り、計画的な配水が行われるよう措置する。
- (2) 農作業中の熱中症による死亡事故は、平成22年以降、毎年20件前後で推移していることを踏まえ、別紙の内容に十分注意して作業する。

II 野菜

(1) 干ばつ対策

- ア 干ばつ傾向にある地域においては、土壌の保水力を高め、また、根を深く張らせるために、深耕、有機物の投入等に努める。さらに、マルチ等により土壌面からの蒸発防止に努める。
- イ ハダニ類、アブラムシ類等干ばつ時に発生が多くなる傾向の病害虫については、その発生動向に十分注意し、適期防除に努める。

(2) 高温対策

ア 全般

- (ア) かん水は、立地条件や品目、生育状態等を十分考慮し、早朝・夕方に実施する。また、地温上昇の抑制や土壌水分の保持を図るため、使用時期や施肥等に留意し、地温抑制マルチや敷わら等を活用する。高温耐性品種の選定に当たっては、立地条件、品種特性、需給動向等を十分に考慮する。
- (イ) 園芸用施設は、施設内の温度上昇を抑制するため、妻面・側面を開放するとともに、作物の光要求性に応じて、遮光資材等を使用する。遮光資材は、果実の日焼けや葉やけの防止にも有効である。細霧冷房装置、換気装置等を設置している施設では、当該装置を有効に利用して適切な温度及び湿度の管理に努める。
- (ウ) こまめな除草や側枝、弱小枝及び下葉を除去し、風通しを良くする。
- (エ) 育苗箱は、コンテナやブロックでかさ上げし、風通しを良くする。

イ 特に葉茎菜類

乾燥によるチップバーンを防止するため、薬剤防除時にカルシウム剤を混用する。

ウ 特に果菜類

- (ア) 不良果の摘果、若どりを行い、着果負担の軽減を図るとともに、適切な施肥により樹勢維持に努める。
- (イ) 老化葉、黄色葉を中心に摘葉を実施し、水分の蒸発抑制に努める。
- (ウ) カルシウム欠乏、鉄欠乏、ホウ素欠乏等の生理障害対策として、必要に応じて葉面散布を行う。

Ⅲ 果樹

(1) 干ばつ対策

- ア 干ばつ傾向にある地域においては、用水の確保に努め、敷わら、敷草等により、土壌水分の蒸発を極力抑制しつつ、適宜かんがいを実施する。
- イ 草生園においては、干ばつ期の草刈りを実施し、防水透湿性シートによるマルチ栽培を行っている園地においては、マルチを巻き上げてかん水を行う、かん水チューブによりドリップかんがいを行う等により、地表面への直接かん水に努める。
- ウ なお、かん水に当たっては、かん水設備の漏水・目詰まり等に留意し、適切にかん水が行われるよう事前に点検を行う。

(2) 高温対策

- ア 収穫期を迎える果実については、着色不良を防止するため、樹冠内光環境の改善、反射シートの活用によって着色を促す。
- イ 着色が遅延することに伴い収穫時期が遅れ、果実が過熟とならないよう、適期収穫に努める。
- ウ 高温によって果実の日焼けが発生しやすい園地においては、各種資材による遮光等の対策をとる。

(3) 病虫害対策

- 干ばつ時に発生し易いハダニ類については、発生動向に十分注意し、発生初期からの薬剤防除を実施する。

Ⅳ 花き

(1) 干ばつ対策

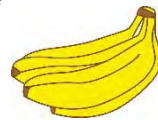
- ア 干ばつ傾向にある地域の露地栽培の花きについては、土壌の保水力を高め、また、根を深く張らせるために、深耕、有機物の投入等に努める。さらに、マルチ等により土壌面からの蒸発防止に努める。
- イ ハダニ類、アブラムシ類等干ばつ時に発生が多くなる傾向の病虫害については、その発生動向に十分注意し、適期防除に努める。

(2) 高温対策

- ア 切り花については、朝・夕の気温の低い時間に採花し、常温で長時間放置しない。また、エチレンによる劣化を防ぐため前処理剤を使用し品質の維持に努める。
- イ 施設栽培の花きについては、施設内の温度上昇を抑制するため、妻面・側面を開放するとともに、作物の光要求性に応じて、遮光資材等を使用する。細霧冷房装置、換気装置等を設置している施設では、当該装置を有効に利用して適切な温度及び湿度の管理に努める。

1. 暑くなる前に、熱中症に負けない体作りをしておきましょう

- ☀ 暑さに慣れるため、毎日30分くらい歩く習慣をつけましょう
(歩いた後は牛乳を1杯飲むとさらに効果的です)
- ☀ 暑さに強くなる食べ物を積極的にとりましょう
(ビタミンB1を含む豚肉や卵、カリウムを含むほうれん草やバナナ、クエン酸を含む梅干しやパイナップルなどが効果的です)



2. 暑くなってきたら、日々の体調管理に一段と気をつけるようにしましょう

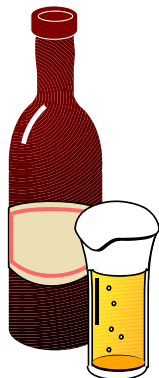
- ☀ 高血圧症・糖尿病等の持病や、睡眠不足・前日の飲酒・朝食の未摂取等は熱中症の発生に影響を与えます



朝食は作業前に欠かさず食べましょう



睡眠はしっかりとりましょう

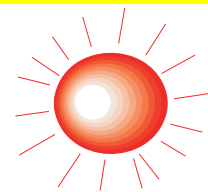


お酒はほどほどにしましょう
(気づかないうちに脱水します)



持病がある場合や体調不良のときは
翌日の作業内容の変更などを検討しましょう

夏の農作業で気をつけること



1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう

- ☀ 特に70歳以上の方は、高温時の作業は極力避けましょう
- ☀ 日中のシャベルを使った作業や草刈りは避けましょう(別添2参照)

2. こまめな休憩、水分補給を行いましょう

- ☀ のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1~2杯をめやすに水分補給しましょう
- ☀ 休憩時は作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう

3. 熱中症予防グッズを活用しましょう

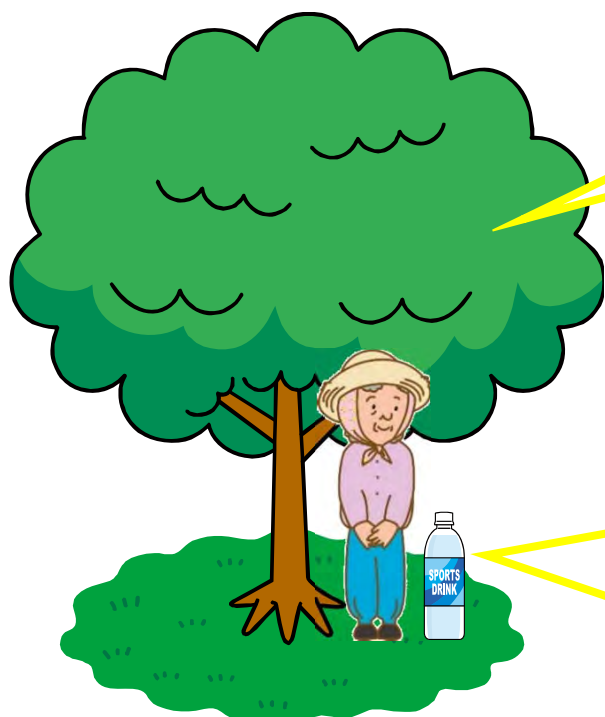
- ☀ 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服やファン付きの作業着、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう

4. 単独作業を避けましょう

- ☀ 作業は2人以上で行うか、時間を決めてお茶を運び合うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう

5. 高温多湿の環境を避けましょう

- ☀ 作業場所には、日よけを設ける等、できるだけ日陰で作業をするようにしましょう
- ☀ ハウス等の施設内では、断熱材を使用したり、風通しを良くするなどして気温や湿度が高くなりすぎないようにしましょう



木陰などの涼しい休憩場所を必ず確保しておきましょう

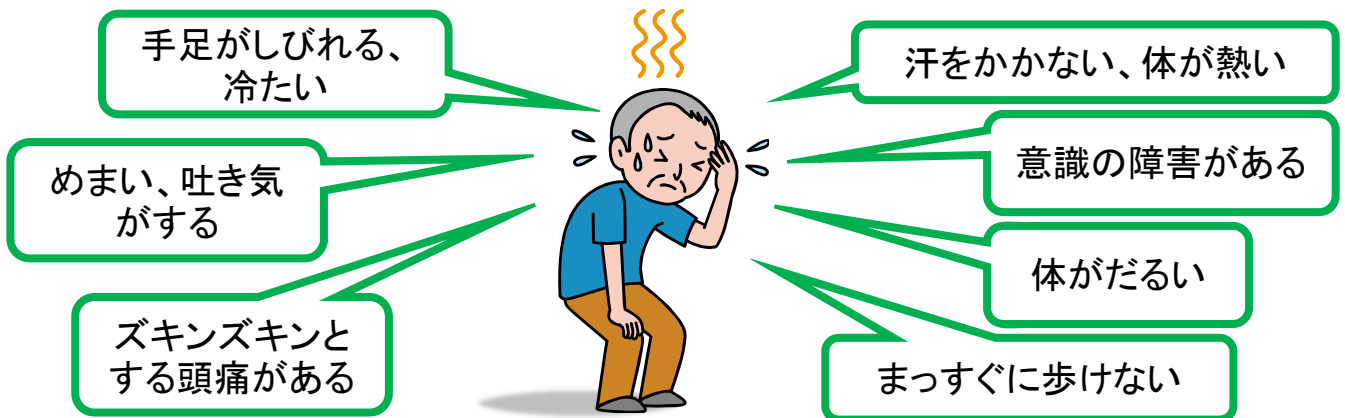


足がつったり、筋肉がピクピクする症状がみられたら、0.1~0.2%程度の食塩水(1ℓの水に1~2gの食塩)かスポーツ飲料を飲みましょう

熱中症が疑われる場合の処置

1. 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう

☀ 代表的な症状は以下のとおりですが、熱中症には特徴的な症状がなく、「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性がります

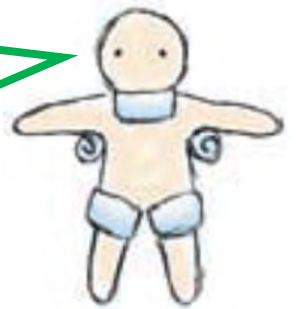


2. 応急処置を行いましょ



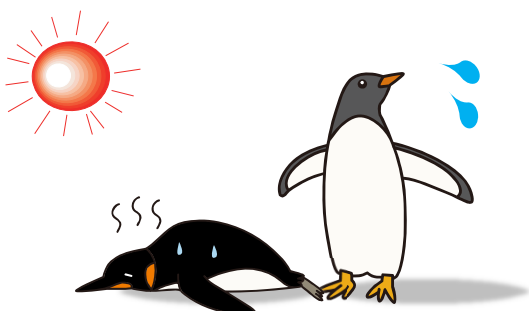
- ☀ 涼しい環境へ避難しましょ
- ☀ 服をゆるめて風通しをよくしましょ
- ☀ 水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょ
- ☀ 水分・塩分を補給しましょ

脇の下、両側の首筋、足の付け根を冷やすと効果的です



3. 病院で手当を受けましょ

☀ 意識がない場合、自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても症状がよくなる場合は、すぐに病院で手当を受けるようにして下さい



参考情報

- 熱中症対策を含む農作業安全対策全般について

農林水産省ホームページ「農作業安全対策」

http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/index.html#necc_huushou

- 熱中症予防グッズについて

全国農業機械商業組合連合会ホームページ「おしゃれな農作業ウェア」

<http://www.zennouki.org/ware.html>

- 熱中症全般について

環境省ホームページ「熱中症予防情報サイト」

<http://www.wbgt.env.go.jp/>

- 農業法人等で雇った人の熱中症予防や地域の高齢者等に対する熱中症対策の事例等について

厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/

- 気温に関する予測情報などについて

気象庁ホームページ「熱中症から身を守るために」

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kurashi/netsu.html>